

JR烏山線を基軸とした地域交流の拡大に向けた取り組み
 ～『烏寶線鉄道唱歌』の解明成果と『地域資源回遊マップ』の制作過程を踏まえて～

発掘資料『烏寶線鉄道唱歌』のこれまでの解明成果

『烏寶線鉄道唱歌』は、大正12年に開業した現在のJR烏山線が詠われた鉄道唱歌である。唱歌は、市民（故人）から拝領した5枚の便箋に書き留められていたもので、手書き且つ古いことから判読できない部分もある。しかしながら、その復元を行い、詠まれた歌詞を丹念に追いかけて解明することにより、唱歌が作られた当時における地域情報はもとより、その後の地域変容についても把握が可能となる。そこで、以下の手順により唱歌に係わる全容の解明を行った。①市文化財関係者や古老へのヒアリングおよび現地・文献調査により全20番までの歌詞を復元・特定した。②歌詞から固有名詞を抽出した（固有名詞数：59件）。③固有名詞を基に、鉄道唱歌が大眾に迎え入れられた要素を“地域の魅力・誇り”と位置付け『地域資源』として抽出した（地域資源数：33件）。④歌詞の内容と当時の地域情報を把握することを目的に、歌詞が作られた昭和5年当時の風光復元スケッチを作成した（5枚）。⑤昭和5年から現在に至る間の地域変容の把握として、土地利用面積の推移（宅地化と農用地の推移）、市街地整備（街路事業および土地区画整理事業）、小学校および児童数の推移、電力事業の趨勢等について分析した。その結果、地域の浮沈様態とともに、豊かな自然景観が喪失していく過程が把握できた。

■『烏寶線鉄道唱歌』の全容■

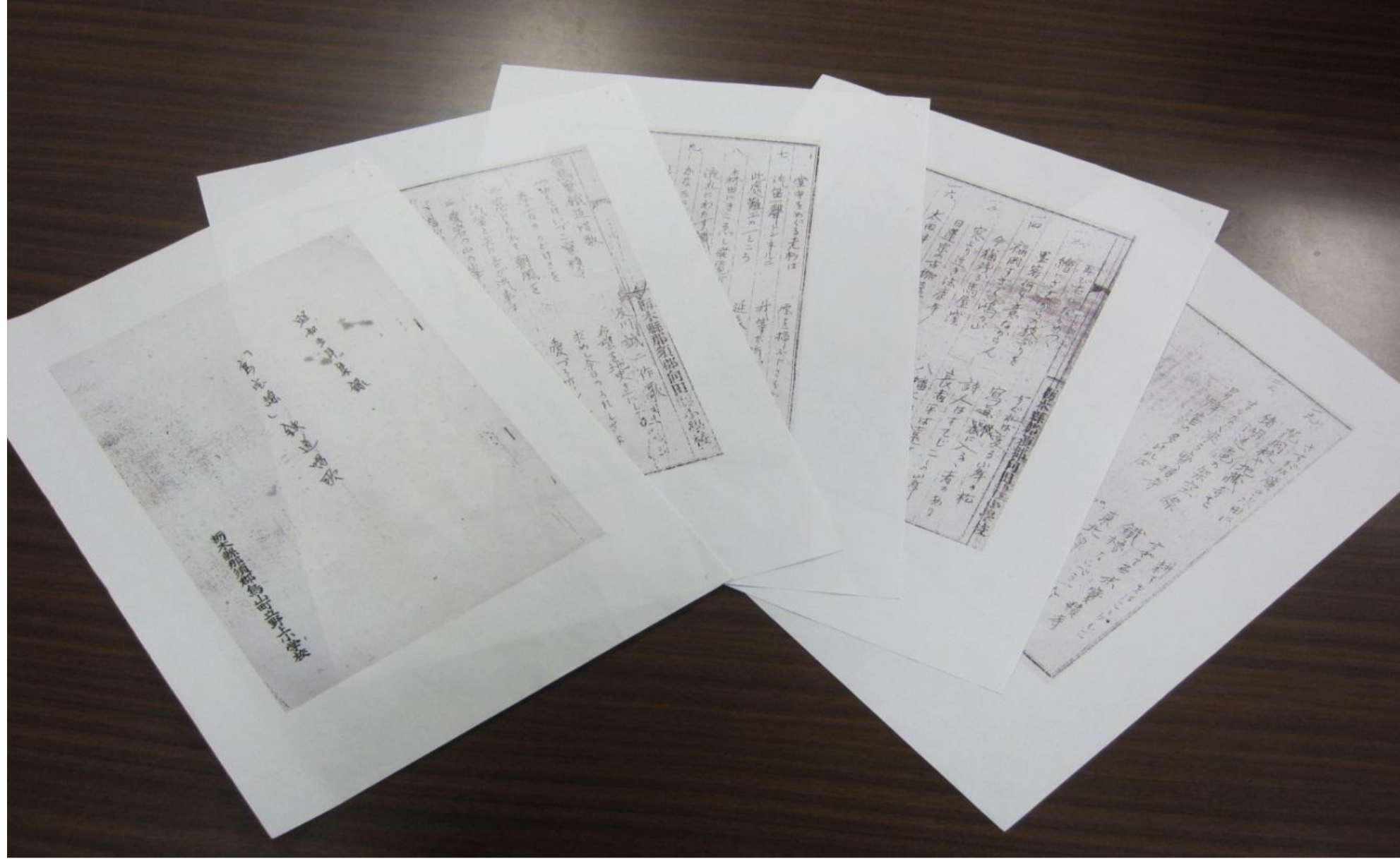


図1 那須烏山市民(故人)から入手した5枚のコピー

表1 特定した『烏寶線鉄道唱歌』の歌詞全文

作歌者：及川誠二（昭和5年集録）	
1	ゆくてはいづこ寶積寺 希望を地史の上にして 春の一日ののどけさを 求めし今日のうれしさよ
2	窓にもたれて朝風を 愛つる折りしも一聲の 汽笛と共に吾が汽車は 烏山をば出でにけり
3	愛宕の山の峯つゞき めぐるると見れば蛇塚の 宿もいつしかあとに見て 峠を走る心地よさ
4	麦の緑のそが中に 黄金欺く花ありて 言はづとかるる春の香に 思はず胸の踊るなり
5	瀑音高く緑陰に 響くはこれぞ名にし負ふ 瀧の名所と相俟ちて 観音堂のあるところ
6	石のぎざはしむむして 慈覚大師開山の 堂宇をめぐる老杉は 雲を拂ふにさもにたり
7	汽笛一聲トンネルに 我等が汽車は入りにけり 此處難工のところが 延長書に三町餘
8	森田にきこえし発電所 小溝をすぎて荒川の 流れにわたす鐵橋に かゝれば音のかまびすし
9	かなたに見ゆる山脈の ふもとにひける一筆の 斜めに染めしすかさみ 高瀬の景の得がたしや
10	いつしか大里あとにして 鎮守ふりむくひまもなく 大金驛につきにけり 驛夫のこゑもほがらかに
11	化石に名ある小河原や 人に知られし十二口 大和久小倉ほど近く 汽車は驛をばいでにけり
12	田の倉校や安楽寺 窓下に青き荒川を 再び右にながめつゝ すぐれば変る峯の松
13	繪にさながらの枝ぶりを 寫眞機に入るゝ者のあり 墨客何ぞ意なからん 詩人はすてじこしの峯
14	福岡すぎて鴻の山 長者平は遠けれど 今猶残る馬屋窪 八幡太郎に知られけり
15	窓より近き法康寺 一向宗にぞしられぬ 轟新田の三箇寺は 日蓮宗の古伽藍
16	太田神社を右に見て 左に仰ぐ星の宮 文挾校の庭先を すぐれば早やも熟田驛
17	汽車は煙を吐きたてゝ 今ぞ熟田をいでゝ行く 高根沢また花岡は 野州米てふ名も高し
18	廣藪幾里灌漑の 水路蜘蛛手に分れつゝ さすかは廣き水田に 耕すものはこゝかしこ
19	花岡校や地蔵寺を すぎて石末寶積寺 猪湖送電の架空線 鐵橋ならへる一奇観
20	まもなく来る寶積寺 東北線と交りて 昇降客の多ければ フラットホームは織る如し

■唱歌から抽出した固有名詞■

表2 59個の固有名詞の抽出

番号	曲番	固有名詞	番号	曲番	固有名詞	番号	曲番	固有名詞
1	1	寶積寺	21	10	鎮守	41	15	三箇寺
2	2	烏山	22	10	大金驛	42	16	太田神社
3	3	愛宕の山	23	11	化石に名ある河原	43	16	星の宮
4	3	蛇塚	24	11	十二口	44	16	文挾校
5	3	宿	25	11	大和久	45	16	熟田驛
6	3	峠	26	11	小倉	46	17	熟田
7	4	麦の緑	27	12	田の倉校	47	17	高根沢
8	4	黄金欺く花	28	12	安楽寺	48	17	花岡
9	5	瀧の名所	29	12	荒川	49	17	野州米
10	5	観音堂	30	12	峯の松	50	18	廣藪幾里灌漑の水路
11	6	慈覚大師開山の堂宇	31	13	寫眞機	51	19	花岡校
12	6	（堂宇をめぐる）老杉	32	13	詩人	52	19	地蔵寺
13	7	トンネル	33	13	こしの峯	53	19	石末
14	8	森田にきこえし発電所	34	14	福岡	54	19	寶積寺
15	8	小溝	35	14	鴻の山	55	19	猪湖送電の架空線
16	8	荒川の流れ	36	14	長者平	56	19	鐵橋ならへる
17	8	鐵橋	37	14	馬屋窪	57	20	寶積寺
18	9	かなたに見ゆる山脈	38	14	八幡太郎	58	20	東北線
19	9	高瀬の景	39	15	法康寺	59	20	フラットホーム
20	10	大里	40	15	轟新田			

■固有名詞から抽出した地域資源■

表3 昭和5年当時の地域資源（33件）

番号	曲番	地域資源	分類	最寄駅
1	3	愛宕の山	①自然・自然的景観	烏山 (4件・12.1%)
2	3	峠	①自然・自然的景観	
3	4	麦の緑	①自然・自然的景観	
4	4	黄金欺く花	①自然・自然的景観	滝 (5件・15.2%)
5	5	瀧の名所	①自然・自然的景観	
6	5	観音堂	②歴史・歴史的景観	
7	6	慈覚大師の開山堂宇	②歴史・歴史的景観	小溝 (4件・12.1%)
8	6	（堂宇をめぐる）老杉	①自然・自然的景観	
9	7	トンネル	⑤建造物（交通・通信・土木）	
10	8	森田にきこえし発電所	④建造物（産業）	大金 (5件・15.2%)
11	8	荒川の流れ	①自然・自然的景観	
12	8	鐵橋	⑤建造物（交通・通信・土木）	
13	9	かなたに見ゆる山脈 （高原山・那須岳）	①自然・自然的景観	鴻野山 (6件・18.2%)
14	10	鎮守	②歴史・歴史的景観	
15	11	化石に名のある河原	②歴史・歴史的景観	
16	11	十二口	②歴史・歴史的景観	仁井田 (3件・9.1%)
17	12	田の倉校	③建造物（教育）	
18	12	安楽寺	②歴史・歴史的景観	
19	12	峯の松	①自然・自然的景観	下野花岡 (6件・18.2%)
20	13	こしの峯	①自然・自然的景観	
21	14	長者ヶ平	②歴史・歴史的景観	
22	14	八幡太郎	②歴史・歴史的景観	仁井田 (3件・9.1%)
23	15	法康寺	②歴史・歴史的景観	
24	15	三箇寺	②歴史・歴史的景観	
25	16	太田神社	②歴史・歴史的景観	下野花岡 (6件・18.2%)
26	16	文挾校	③建造物（教育）	
27	17	野州米	①自然・自然的景観	
28	16	星の宮	②歴史・歴史的景観	下野花岡 (6件・18.2%)
29	18	廣藪幾里灌漑の水路	①自然・自然的景観	
30	19	花岡校	③建造物（教育）	
31	19	地蔵寺	②歴史・歴史的景観	下野花岡 (6件・18.2%)
32	19	猪湖送電の架空線	⑤建造物（交通・通信・土木）	
33	19	鐵橋ならへる	⑤建造物（交通・通信・土木）	

■近代後期以降における沿線地域の変容分析■

表4 土地利用面積の推移(上段:面積km²,下段:全地積に占める割合%)

市町村	種別	昭和30年	昭和35年	昭和45年	昭和55年	平成2年	平成12年	平成22年
		面積(km ²)						
那須烏山市	総地籍	124.63	120.70	172.68	172.68	172.68	172.68	172.68
	田	18.53	18.09	19.92	22.33	27.01	26.95	15.43
	畑	26.29	25.79	25.06	21.17	16.95	16.61	9.59
	宅地	4.42	4.42	4.60	6.10	7.89	8.97	8.97
高根沢町	総地積	62.06	60.36	71.09	71.09	71.09	71.09	71.09
	田	36.07	35.34	37.10	39.09	38.16	36.83	36.54
	畑	10.65	10.05	8.58	5.31	4.63	4.14	4.00
	宅地	2.94	2.95	3.59	4.74	6.13	7.21	7.81

(「栃木県統計年鑑」昭和32年3月、36年3月、昭和45、55、平成2、12、22年度版を基に作成)

表5 主要地方道宇都宮那須烏山線の整備時期

事業名	事業時期	区 間	
		起 点	終 点
①道路改良事業	H12~H16	那須烏山市鴻野山字萩之平5	那須烏山市小倉坂下1076-1
②交通安全施設事業	H8	那須烏山市鴻野山165-1	那須烏山市福岡534
③道路改良事業(事業中)	H18~	那須烏山市福岡字三百沢652-6	那須烏山市田野倉字休場787-4
④交通安全施設事業	S63	那須烏山市田野倉756	那須烏山市田野倉792-1
⑤道路改良事業	S48~S62	那須烏山市田野倉774-1	那須烏山市高瀬492-1
⑥道路改良事業	H11~H24	那須烏山市高瀬字上川原611-1	那須烏山市神長字関下883-1
⑦道路改良事業	H6~H12	那須烏山市神長字関下883-1	那須烏山市中央一丁目字釜ヶ入774-2
⑧街路事業	H2~H15	那須烏山市中央一丁目字釜ヶ入774-2	那須烏山市中央

表6 土地区画整理事業の整理

事業名	事業年	事業主体	面積 (ha)	公共用地 (ha)	戸数
野上台団地(宅地分譲)	S40年代	旧烏山町	不明	—	約70
泉土地区画整理事業	S48~S50	旧烏山町	12	道路(国)	0.3
				道路(町)	1.9
				公園	0.4
			計	2.6	
高峰パークタウン	h10~h14	民間	18	—	273

(「烏山町史」,那須烏山市都市建設課へのヒアリングを基に作成)

■昭和5年当時の風光復元スケッチ■



《唱歌8番：荒川の流れにわたす鐵橋》

- 字森田の荒川に架かる。
- 車窓からは、小溝-大金間で見られる。
- 大正12年に架設され、“小溝の鐵橋”と呼ばれた。初代の構造形式は“ボーストリングトラス”の下路橋と思われる。橋長は66mで、整層切石積の橋脚が壮麗である。
- 昭和29年に、現在のプレートガーダー(2連)に架け替えられた。

図2 風光復元スケッチの一例